



東京都立新宿山吹高等学校

学 校 説 明 会

定 時 制 課 程

令和5年度

第4回 12月 16日(土)

新宿山吹高校（定時制課程）

1 本校の特色

単位制 無学年制	<ul style="list-style-type: none"> ・1991(平成3)年に開校しました。今年で33年目になります。 ・都立で最初の「単位制」高校です。そして「無学年制」を採用している唯一の高校です。 ・「単位制」高校は、「科目ごとに修得した単位を、卒業まで積み重ねていく学校」です。一般的な、「1年ごとにカリキュラムを修了し、進級していく学校」とは異なります。 ・「無学年制」ですから、学年ごとに定められた科目はありません。生徒が進路・興味に応じて自分で科目を選択し、時間割を作成します。学年が存在しないので、1学年下のクラスで学び直す「原級留置(留年)」もありません。 ・自分のペースで勉強し、学校生活を送ることができます。その反面で「自主・自律」が求められます。 	
昼夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間目(8:40)から12時間目(21:10)まで授業が行われています。 ・生徒は、普通科1部～4部、情報科2部・4部の合計6部のいずれかに所属します。 ・自分の部の時間帯を中心に授業を受けますが、他の部の時間帯の授業を受けることもできます。 	
普通科 情報科	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科…国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報等を学びます。これらは一般的な全日制高校の普通科と同じ教科・科目です。 ・情報科…普通科の教科・科目と専門教科「情報」の科目を学びます。都内で唯一の「情報科」です。 	
時間割	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年3月に、自分の進路や興味・関心、単位の修得状況などに応じて、生徒が1年間の時間割を作成します。生徒一人一人が自分の時間割を持っています。 ・時間割を自分で作るということは、単に科目を選ぶだけでなく、登下校時間や1週間に学習する時間数、さらには卒業までの年数(3年間か4年間か)も自分で決めるということになります。 	
授業	月～金	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として50分×2コマ連続で行います。100分授業です。 ・基礎的な内容の講座から入試演習の講座まで、様々なレベルの講座を設置しています。 ・登校すると各自の授業の教室に向かいます。授業ごとに教室を移動します。 ・授業ごとに違ったメンバーで授業を受けることになります。先輩も後輩も混ざって授業を受けます。 ・100分間、静かで落ち着いた雰囲気の中で授業が行われています。これも本校の大きな特長です。
	土曜	<ul style="list-style-type: none"> ・通信制課程のスクーリング(登校しての教科指導)があるので、定時制課程の授業はありません。
ホームルーム(HR)	<ul style="list-style-type: none"> ・週1時間のホームルーム(HR)が時間割に組みこまれ、この時間にクラスのメンバーが集まります。 ・クラス担任はいますが、本校では集団指導よりも個別の相談・指導を大切にしています。 	
チャイム	<ul style="list-style-type: none"> ・設備はありますがチャイムは鳴りません。生徒一人一人が時間を管理して教室に入ります。 	
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭、修学旅行、遠足、球技大会などがあります。参加の強制はしていません。 	
部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後という時間帯が無いので、時間割の空き時間を利用して部ごとに活動時間を決めています。 	
自習室	<ul style="list-style-type: none"> ・周困と仕切られた一人用の机で静かに勉強できます。利用時間は平日 8:45～21:00 です。 	
相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を持たない相談専門の教員が常駐し、常に生徒からの相談に対応しています。 	
制服・上履き	<ul style="list-style-type: none"> ・制服はありません。上履きもありません。 	
体育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館、温水プール、テニスコートなどがあります。敷地が狭いため土のグラウンドはありません。 	
冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・全教室冷暖房完備です。体育館も冷暖房完備です。 	
進路状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、専門学校など多様です。毎年、国公立大や難関私大にも合格者が出ています。 	

2 時程／所属部

- ・1日12時間の授業が行われています。原則として授業は2時間連続、100分授業です。
- ・普通科1部～4部、情報科2部・4部の合計6部のいずれかに所属して授業を受けます。
- ・所属する部は合格発表時に決定されます。←(入試の出願の際に第6志望まで順位をつけて出願できます)。
- ・在学中に所属部を変更することはできません。

時限	時間	普通科1部～4部 情報科2部・4部				月曜～金曜（土曜の授業はありません）
1・2限	8：40～10：20	1部				所属する部…19単位まで修得できます。 （1日4時間×週5日、うちHR1時間） + その他の部…12単位まで修得できます。 ⇒1年間に合計31単位まで修得できます。
3・4限	10：40～12：20					
5・6限	13：10～14：50		2部			
7・8限	15：10～16：50				3部	
9・10限	17：20～19：00				4部	
11・12限	19：30～21：10					

※4部の生徒には、9・10限と11・12限の間に給食の時間があります。

3 単位・履修・修得

単位	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の量を表す言葉です。1週間に1時間(高校では50分を1時間としています)の授業を1年間通して学習した場合、これを1単位といいます。 ・例えば、数学Ⅰという科目は、本校では1週間に4時間の授業が行われますので、1年間を通して学習すると4単位になります。 ・月曜から金曜まで5日間、毎日6時間の授業を受けると、1週間に30時間分の授業を受けることになります。この場合、1年間を通すと30単位になります。
履修	<ul style="list-style-type: none"> ・ある科目の授業に一定の時間以上出席した場合、その科目の履修が認定されます。 ・欠席が多かった科目については履修が認定されません。 ・履修が認定されなかった場合、それが必履修科目であれば、翌年以降にその科目を学び直します。自由選択科目であれば、別の科目に替えることも可能です。
修得	<ul style="list-style-type: none"> ・履修が認定された科目のみ、5段階で成績(評定)がつきます。 ・「2以上」の成績を修めると、その科目の単位修得が認定されます。 ・成績が「1」となった科目は単位修得が認定されません。この場合、履修のみが認定されます。

4 主たる卒業要件

- ①高校での修業年数が3年間以上
- ②74単位以上を修得
- ③必履修科目をすべて履修
- ④情報科の生徒は、74単位以上のうち情報の専門科目25単位以上を修得

5 必履修科目

教科	必履修科目	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ●現代の国語（2単位） ●言語文化（2単位） 	
地理歴史	<ul style="list-style-type: none"> ●地理総合（2単位） ●歴史総合（2単位） 	
公民	<ul style="list-style-type: none"> ●公共（2単位） 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ●数学Ⅰ（4単位） 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ●物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎（各2単位）のうちから3科目 	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ●体育（7単位） ●保健（2単位） 	
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽Ⅰ、美術Ⅰ、工芸Ⅰ、書道Ⅰ（各2単位）のうちから1科目 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ●英語コミュニケーションⅠ（4単位） 	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭総合（4単位） 	
情報	（普通科）	<ul style="list-style-type: none"> ●情報Ⅰ（2単位）
	（情報科）	<ul style="list-style-type: none"> ●情報産業と社会（2単位） ●課題研究（2単位）
人間と社会	<ul style="list-style-type: none"> ●人間と社会（1単位） 	
総合的な探究の時間	<ul style="list-style-type: none"> ●総合探究（3単位） 	

入学者選抜について

1 受検資格

詳細は本校の「募集案内」でご確認ください。12月16日(土)から本校にて配布開始の予定です。

※願書提出時に高校及び高等専門学校に在籍している方には受検資格はありません。出願する場合には、出願前に現在籍校を退学しなければなりません。

2 区分

(1) 推薦選抜（情報科のみの募集）…令和6年3月に都内の中学校を卒業する見込の者。

(2) 学力選抜

①「第1学年相当」

- ・令和6年3月に中学校を卒業する見込の者。
- ・中学校を卒業した者。
- ・高校及び高等専門学校の中途退学者で、修得単位数が18単位以下の者。

②「第2学年相当以上」

- ・高校及び高等専門学校の中途退学者で、在籍期間1年以上、かつ、修得単位数が19単位以上の者。
※上記の単位に、大検・高認での取得単位、各種学校・専修学校の単位は含みません。
※本校「第2学年相当以上」と「第1学年相当」との併願はできません。

3 令和6年度の入学者選抜

【日程】

(1) 推薦選抜

検査日	令和6年1月26日(金)
合格発表日	令和6年2月 2日(金)

(2) 学力選抜

検査日	第1学年相当	令和6年2月21日(水)
	第2学年相当以上	令和6年2月20日(火)
合格発表日	令和6年3月 1日(金)	

【募集人数】

(1) 推薦選抜 情報科（2部・4部） 19名

(2) 学力選抜

- ①「第1学年相当」 普通科（1部～4部） 100名
情報科（2部・4部） 46名
- ②「第2学年相当以上」 普通科（1部～4部） 50名

4 選考方法と点数の内訳

(1) 推薦選抜

調査書点	個人面接点	作文点	総合成績
450 点	400 点	200 点	1050 点

(2) 学力選抜

① 「第1学年相当」

学力検査点	調査書点	面接点	ESAT-J 結果	総合成績
700 点	300 点	135 点	20 点	1155 点

- ※ 学力検査点と調査書点の比率は、7 : 3 です。
- ※ 学力検査は国語、数学、英語の3教科を各50分で行います。都立高校の共通問題です。
- ※ 学力検査点は3教科を合計した300点満点を700点満点に換算します。
- ※ 調査書点は、学力検査を実施する教科（国語、数学、英語）の評定を1倍、学力検査を実施しない教科（社会、理科、音楽、美術、保体、技家）の評定を2倍として算出します。こうして得られた75点満点を300点満点に換算します。
- ※ 面接は集団面接です。
- ※ ESAT-J（中学校英語スピーキングテスト）の結果は、20点満点で点数化します。

② 「第2学年相当以上」

学力検査点	面接点	総合成績
300 点	45 点	345 点

- ※ 学力検査は国語総合、数学Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰの3教科を各40分で行います。
- ※ 本校の独自問題です。前回入選の問題を本校で配布しています。

5 情報科－推薦選抜における評価の観点について

1 個人面接の評価の観点

- ・ コミュニケーション能力
質問の内容を理解した上で自分の考えを述べられるとよいでしょう。
- ・ 思考力・判断力・表現力
自分の知識や経験をもとにした意見を述べるとともに、伝える相手に応じた表現ができるとよいでしょう。
- ・ 志望動機、学習意欲、適性・興味、基本的生活習慣
本校の期待する生徒の姿をよく読んで、その内容についてまとめておくとよいでしょう。

2 作文の評価の観点

- ・ 文章量
規定の字数を書いてください。
- ・ 表現能力
正しい漢字、適切な言葉遣いで文章を書いてください。
- ・ 出題内容に対する理解力
出題内容に見合った内容の文章を書くようにしてください。
- ・ 文章の具体性
自分の体験など、具体的な例を含んだ内容の文章が書けるとよいでしょう。
- ・ 文章の構成力
規定の字数の中で筋道を立てて、順序よく文章が書けるとよいでしょう。

6 志望の順位について

- (1) 推薦選抜 …出願時に、情報科2部か情報科4部か、どちらか1つを指定します。
第2志望はありません。
- (2) 学力選抜
- ①「第1学年相当」 …普通科(1～4部)、情報科(2部・4部)の6つの部で募集します。
出願時に、第1志望から第6志望まで記入することができます。
- ②「第2学年相当以上」…普通科(1～4部)の4つの部で募集します。
出願時に、第1志望から第4志望まで記入することができます。

7 合格者の決め方

- (1) 推薦選抜
総合成績順に募集人員までを合格候補者とします。
- (2) 学力選抜
「東京都立高等学校入学者選抜実施要綱」の中で、次のように定められています。一部を抜粋します。

- (1) 各部(科を含む。以下同じ。)の募集人員を合計した人員を、総合成績の順により決定する。
- (2) 部ごとに、前項(1)の人員のうち、その部を第1志望とした者の中から合格候補者を決定する。
第1志望で募集人員に達しない部は、その不足人員を(1)の人員のうちから志望の順位に基づき、総合成績の順に充足する。
- (3) (2)の方法により充足しない部がある場合、当該の部について、合格候補者となっていない受検者の中から、総合成績の順に、当該の部の志望の有無に基づき充足する。その際、充足しない部が複数ある場合は、総合成績の順に、当該の部の志望の有無に基づき、志望の順位により充足する。

以上の記載を、もう少し具体的に説明します。

- 「第1学年相当」
例として、普通科1～4部と情報科2・4部の募集人員を合計して146名を学力選抜の募集人員とします。
- ① まず、総合成績順に上位146名までを合格候補者とします。
- ② 次に、上位146名の第1志望に基づいて、総合成績順に各部(合計6部)の合格候補者を、各部の募集人員に達するまで決めます。ここで、第1志望にした部がすでに募集人員に達してしまった場合、その合格候補者は、第1志望では合格部が決まりません。
- ③ 第1志望で募集人員に達しない部がある場合は、第1志望で合格部が決まっていない合格候補者の第2志望に基づいて、総合成績順に各部の合格候補者を決めます。この時、第2志望以下を記入していなければ不合格になります。
- ④ それでも、まだ募集人員に達しない部があれば、第3志望に基づいて、総合成績順に各部の合格候補者を決めます。この時、第3志望以下を記入していなければ不合格になります。以下、第6志望まで同様の手順によって各部の合格候補者を決めます。
- ⑤ 上位146名の第6志望までを確認して、なお募集人員に達しない部がある場合は、合格候補者となっていない受検者(147位以下)の中から、その部の志望が有る受検者を総合成績順に合格候補者とします。
- ★上位146名までに入って、なおかつ第6志望まで記入してあれば、必ずいずれかの部に合格します。
その一方で、上位146名までに入っても、志望順位を途中までしか記入していないと、志望した部が募集人員に達した場合には、不合格となることがあります。

- 「第2学年相当以上」
第1学年相当と同様にして決定します。
ただし、第2学年相当以上は編入学試験のため、合格者数が募集人員に満たないことがあります。

8 過去3年間の状況

- ・倍率は（応募人数÷募集人数）で計算した値です。
「第1学年相当」の学力選抜は、普通科と情報科（推薦を除く）をくくりで計算してあります。

年度	区分	第1学年相当								第2学年相当以上					
	学科	普通科				情報科				普通科					
	選抜	学力選抜								推薦選抜		学力選抜			
	部	1部	2部	3部	4部	2部	4部	2部	4部	1部	2部	3部	4部		
R3 2021	募集数	100				46				19		50			
	応募数	197								36		4			
	倍率	1.3								1.9		0.1			
	合格数	30	30	30	16	38	14	18	1	1	2	0	0		
R4 2022	募集数	100				46				19		50			
	応募数	260								40		6			
	倍率	1.8								2.1		0.1			
	合格数	30	30	30	20	38	17	18	1	2	0	1	1		
R5 2023	募集数	100				46				19		50			
	応募数	275								44		5			
	倍率	1.9								2.3		0.1			
	合格数	30	30	30	22	37	19	18	1	1	0	0	0		

9 本校の期待する生徒の姿／自己PRカードの書き方

	本校の期待する生徒の姿
定時制課程 普通科 1～4部	<p>本校は、単位制・無学年制の昼夜間定時制高校です。普通科Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部・Ⅳ部と情報科Ⅱ部・Ⅳ部の合計6部を設置しています。生徒一人一人が進路や興味に応じて科目を選び、時間割を作成し、静かで落ち着いた教室の中でしっかり勉強することができます。本校は、以下のような生徒の入学を期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の特色である単位制・無学年制についてよく理解していること 2 自ら目的をもって学習に取り組めること 3 本校での学習を、将来の進路実現に生かそうとする意志のあること
定時制課程 情報科 2部・4部	<p>本校は、単位制・無学年制の昼夜間定時制高校です。普通科Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部・Ⅳ部と情報科Ⅱ部・Ⅳ部の合計6部を設置しています。生徒一人一人が進路や興味に応じて科目を選び、時間割を作成し、静かで落ち着いた教室の中でしっかり勉強することができます。本校は、以下のような生徒の入学を期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の特色である単位制・無学年制についてよく理解していること 2 自ら目的をもって学習に取り組めること 3 本校での学習を、将来の進路実現に生かそうとする意志のあること 4 情報科目に興味・関心を有すること <p>※ 特に推薦選抜においては、人前での発表等に意欲があり、資格取得に関心があることが望ましい。</p>

自己PRカード (推薦選抜用見本)

年 月 日

東京都立新宿山吹高等学校長 殿

_____ 立 _____ 中 学 校
氏 名 _____

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

「本校の期待する生徒の姿」を参考にしてください。その上で学校説明会での説明や学校案内・パンフレットを活用したり、他の単位制の学校と比較したりして本校の特色である「単位制・無学年制」をよく理解してから記入するとよいでしょう。

将来の進路に関連づけて入学後、本校の情報科で学びたいことを具体的に記入するとよいでしょう。また、入学後してみたい特別活動(部活動・生徒会活動等)について記入してもよいでしょう。

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことを選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

各学年で活動したこと、あるいは3年間継続して活動したことなどの中から、伝えたいことを選び、その体験から得たことについて具体的に記入するとよいでしょう。ある一時期の活動についてでもかまいません。さらに、人前での発表の経験(例えば、学校での学習発表や演劇部などの公演、学校外でもピアノの発表会など)や、現在取得している資格(例えば、英検3級・無線従事者4級・剣道初段など)を記入してください。

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

- ・いま自分が思い描いている将来の目標
- ・将来就きたい職業やその理由およびその職業に就くために行っている努力
- ・高校卒業後の進路希望

などについて、自分が考えていることを具体的に記入しましょう。

(注意) 志願者が黒のボールペンで記入する。なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
第1学年相当の志願者のみ提出する。

自己PRカード (学力選抜用見本)

年 月 日

東京都立新宿山吹高等学校長 殿

____立____中 学 校
氏 名_____

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

「本校の期待する生徒の姿」を参考にしてください。その上で学校説明会での説明や学校案内・パンフレットを活用したり、他の単位制の学校と比較したりして本校の特色である「単位制・無学年制」をよく理解してから記入するとよいでしょう。

将来の進路に関連づけて入学後、本校で学びたいことを具体的に記入するとよいでしょう。また、入学後してみたい特別活動(部活動・生徒会活動等)について記入してもよいでしょう。

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

各学年で活動したこと、あるいは3年間継続して活動したことなどの中から、伝えたいことを選び、その体験から得たことについて具体的に記入するとよいでしょう。ある一時期の活動についてでもかまいません。また高等学校に在籍の経験のある場合には、その期間の活動について記入してもよいでしょう。

※事情があって長期欠席の場合には、その期間内に活動したことあるいは考えたことについて具体的に記入するとよいでしょう。

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

- ・いま自分が思い描いている将来の目標
- ・将来就きたい職業やその理由およびその職業に就くために行っている努力
- ・高校卒業後の進路希望

などについて、自分が考えていることを具体的に記入しましょう。

(注意) 志願者が黒のボールペンで記入する。なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
第1学年相当の志願者のみ提出する。

生活指導部より

新宿山吹高校では、一人ひとりの生徒が「安心して学べる環境」づくりを目指し、卒業までに基本的な生活習慣や社会性を身に付けられるように指導しています。

また、本校の校風である「自主・自律」の精神を尊重し、頭髪や制服などの細かい校則はもうけていませんが、他人の迷惑となる反社会的な行動や法律に反することをを行った場合には、それ相応の指導を行っています。

●法律や規則で定められている事項を守るよう指導しています。

未成年者の飲酒や喫煙はもちろんですが、20歳以上でも校舎敷地内でのこれらの行為は指導の対象となります。

●自動車・バイク（原付を含む）による通学は禁止しています。自転車通学は届出制です。

令和元年4月より自転車に乗る場合には、保険への加入が義務付けられています。

●暴力（暴言）やいじめ、授業妨害等の他人を傷つける行為に対しては厳しく指導します。

このような行為を行った場合には、生活指導部を中心として特別指導の措置がとられます。また、繰り返す場合や悪質な行為には、進路変更の措置をとる場合もあります。

生活指導部においては、

1. 定期的に校内・校外巡回を実施することで、生徒の安全権を保障する。また、生活上の問題等が起こった場合には、担任や各家庭と連携しながら生徒の成長・発達に即して、問題解決に努めています。
2. ネット関係、消費者教育、迷惑行為、犯罪に関わる行為について、特に高校生が被害者・加害者になりうるテーマに関して、セーフティ教室などの行事を通して指導しています。
3. 適宜、その時点で問題になっているテーマについて、集会などで生活指導部からの注意を喚起しています。

★部活動について

生徒の空き時間及び施設の空いている時間に、原則として顧問の監督・指導のもと活動しています。複数の部に所属し活動している生徒もたくさんいます。多くの部活動が定時制・通信制の大会等で優秀な成績を収めています。

★生徒の登下校時間について

エントランス（入口）のドアが開く（開錠）のは、7時45分です。原則としてそれまでは校内には入れません。下校時刻は、通常時は21時20分、学校行事にある日（健康診断・生徒総会・キャリアガイダンス等）は19時00分、長期休業中は18時00分となります。これ以降に校内に残って活動することは原則としてありません。

本校は他校に比べればある意味「自由」な学校です。しかし、「自由」には重い「責任」も伴います。「自由」の意味をよく考えて、自己管理を徹底し、より有意義な高校生活を送ってもらえるよう望んでいます。

本校の進路活動について

定時制課程進路指導部

●本校の進路指導の体制について

学校案内パンフレット「進路状況」にある通り、生徒は卒業後、多種多様な進路を実現しています。本校では授業の科目を自分で選ぶので、一人ひとりの時間割が異なります。興味のあるものは十人十色、個性も資質も幅広い新宿山吹高校の出口としての進路を担うため、進路指導部は専任教員、兼任教員だけでなく、クラスの担任、部活動の顧問の全員で協力してサポートしていきます。本校の施設として進路指導室があり、生徒の皆さんがいつでも進路相談や資料の閲覧ができるよう、午前中から夜まで基本開室しています。進路指導部の教員が時限ごとに数名常駐しています。

●進路指導部として心がけていること

私たち進路指導部が心がけていることは「進路は生徒自らが考え、選択し、決定する」ということです。なぜならば、進路は「自分の生き方」そのものであるからです。目に見える結果としてパンフレット「進路状況」はありますが、その一つひとつは紆余曲折の中、これからの「自分の生き方」へ踏み出した一歩です。私たち進路指導部が果たす役割は、生徒自らが考え選択し決定する過程を、生徒の歩みに合わせ一緒に模索してゆくことだと思っています。また本校は無学年制ということもあり、様々な生徒に応じた進路行事や説明会を計画し、生徒の進路実現のきっかけを提供しています。

●年間の進路行事・説明会

4月	進路オリエンテーション、進路講演会、就職ガイダンス、校内学カテスト	8月	校内模試実施
5月	進路に関する保護者説明会、総合型選抜・学校推薦型選抜入試説明会	9月	共通テスト説明会
6月	上級学校授業体験、就職説明会	10月	進路ガイダンス、進路適性検査
7月	卒業生を囲む会		

相談室について

●相談室の体制について

・新宿山吹高校（定時制）には「相談室」があり、都立高校で唯一の2名の相談室担当教員が常駐しています。スタッフは相談室教員が他に2名、スクールカウンセラー2名、ユースソーシャルワーカー2名、校内別室指導支援員、心理の大学院の実習生です。

●相談室の活動について

1. 居場所としての相談室
 - ・入学後の新入生全員面接や、個別相談で、生徒の皆さんの学校生活をサポートします。（学習、学校生活、進路、性格・人間関係、生活福祉等の相談を受けています）
 - ・フリーコーナーでは、休憩、自習や読書、友人との談話、昼食をとることもできます。
2. いろいろな学校行事も実施
 - ・新入生のホームルームで、仲間作りをはじめ、クラス全体でソーシャルスキル学習を行います。
 - ・年9回の自己探索学習（不安のコントロール・アサーション・問題解決スキル等の学習）を実施します。
 - ・野外活動での共同体験としてサマーハイキングやデイキャンプを実施します。

●保護者の皆様からの個別相談について

保護者の皆さまからの相談も随時受け付けています。